

令和5年1月

# 第1回和光市教育委員会定例会会議録

和光市教育委員会

令和5年第1回和光市教育委員会定例会日程

令和5年1月26日（木曜日）午後1時30分開会

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 教育長の報告

日程第3 付議案件

（1）議案第1号 和光市教育委員会表彰規程に基づく表彰について

日程第4 協議・報告事項

（1）和光市教育委員と教職員との懇談会について

日程第5 その他（教育委員諸報告・事務局報告など）

出席委員（5名）

教育長	石川毅
教育長職務代理者	山田実
委員	山下玲子
委員	村中秀人
委員	牧江利子

---

欠席委員（なし）

---

議事参与者

教育委員会事務局教育部長	寄口昌宏
〃 次長兼教育総務課長	福田裕子
〃 次長兼学校教育課長	佐藤真二
〃 次長兼生涯学習課長	亀井義和
〃 スポーツ青少年課長	鈴木克明

---

傍聴人（1名）

開会 午後 1時30分

○石川教育長 それでは、開会に当たりまして御挨拶を申し上げます。

先週の20日、大寒でしたけれども、このところ、まさに寒の内と言われるように寒い日が続いております。

今週は、近年最強の寒波ということで、全国各地で降雪による被害などが報道されております。そんな1月の下旬に、中学3年生は22日の日曜日から私立高校の入試が始まり、また中学2年生は林間学校ということで、大和中学校はおととい帰ってきましたけれども、第三中学校が昨日から27日まで、そして第二中学校は29日に出発を予定しています。小学校では、先週の金曜日に5年生によるサッカー大会、これが第三小学校、広沢小学校、下新倉小学校を会場にして行われました。

新型コロナウイルス感染症については、5類への引下げ時期の検討などがなされているようですけれども、新学期が始まって学級閉鎖は幾つかの学校で行われておりますけれども、昨年12月下旬と比較すると、各学校とも落ち着いた3学期のスタートになっているようです。

それでは、次第に従って進行してまいります。

---

#### ◎会議録署名委員の指名について

○石川教育長 日程第1、会議録署名委員の指名について。

署名委員を牧委員にお願いいたします。

○牧委員 はい、お願いします。

---

#### ◎教育長の報告

○石川教育長 日程第2、教育長報告を行います。

4日水曜日、仕事始めの日になりますけれども、臨時政策会議に出席をいたしました。

5日木曜日、学校給食協会の採用職員への辞令の交付を行いました。その辞令交付に引き続き、学校給食協会の永年勤続表彰を行いました。午後には、和光消防署長が新年の御挨拶にお見えになりました。

8日日曜日、第三小学校で行われた和光市消防出初式に出席をいたしました。そして、午後は、サンアゼリアの大ホールでの成人式に出席をいたしました。

11日水曜日、この日から市内小・中学校での一斉あいさつ運動が始まり、この日は第二中学校であいさつ運動に参加をしました。その後、定例校長会議を開催いたしました。午後は、南部教育長会・教育長協議会に出席をいたしました。

12日木曜日、この日は下新倉小学校のあいさつ運動に参加をいたしました。その後、教育委員会表彰の審査会を行いました。また、午後に、和光市人権教育推進協議会に出席をいたしました。その後、和光市商工会の賀詞交歓会に出席をし、また、教職員組合と話し合いを行いました。

13日金曜日、第三中学校であいさつ運動に参加をいたしました。

14日土曜日、荒川河川敷運動公園で運動公園の野球場で行われた新春たこあげ大会に出席をいたしました。

15日日曜日は、大和中学校と第二中学校の吹奏楽部、それと大和中学校の放送部も参加したサンアゼリア吹奏楽フェスティバルに出席をいたしました。

16日月曜日、第五小学校のあいさつ運動に参加をいたしました。

17日火曜日、広沢小学校のあいさつ運動に参加をいたしました。

その後、教頭会議を開催し、その後に政策会議に出席をいたしました。

20日金曜日、市民の方と市議会議員の方、それから山田委員も参加されて、保健福祉部長と共に教育と福祉の連携について話し合いを行いました。

22日日曜日、午前中に市役所全庁での職員災害対応訓練を行いました。

24日火曜日、校長研究協議会が市役所で開催されましたので、挨拶をいたしました。

25日水曜日、「美しいまちづくり 心から感謝」表彰式に出席をいたしました。

そして、本日、定例教育委員会を開催しております。

27日金曜日は、秩父市で開催される第4回埼玉県都市教育長協議会定例協議会に出席をする予定です。

30日は月曜日ですけれども、県教育局小中学校人事課と南部教育事務所の方が来庁される予定になっております。

31日火曜日、指導に係る学校訪問で新倉小学校を訪問する予定です。

日程については以上になります。

---

### ◎付議案件

○石川教育長 続いて、日程第3、付議案件。

本日の付議案件は1件です。

議案第1号 和光市教育委員会表彰規程に基づく表彰について。

教育総務課から説明をお願いいたします。

○**福田次長** それでは、御説明申し上げます。

手元の配付資料2を御覧ください。

こちらは和光市教育委員会表彰規程に基づいて、学校教育分野や社会教育分野で功績のあった方を表彰するものです。具体的な表彰規程の基準としましては、2ページめくっていただいた表彰規程と、次ページの表彰選考基準内規で、各団体から担当課に御推薦いただいた方となります。

では、1枚戻ってください。表彰被表彰候補者一覧のとおり、今年度は個人の方4名を推薦いたします。団体の推薦はございません。

それでは、推薦団体の担当課から候補者一覧の順に、候補者のお名前、推薦内容を紹介いたします。

○**亀井次長** では、生涯学習課のほうから3名の推薦となります。

資料のほうのナンバー1ですね、お一人目は吉田孝様です。吉田様は、ささら獅子舞の保存に御尽力いただいております、特に、舞では常に技術研さんに励み、その保存のための指導者として後継者育成に力を注いでおられます。34年にわたり活動されております。

続きまして、お二人目は森谷栄一様です。森谷様も同様に、舞の技術研さんと保存のため、指導者として後継者育成に御尽力をいただいております。34年間活動されております。

3人目は田中透様です。田中様も同様に、舞の技術研さんと保存のため、指導者として後継者育成に御尽力いただいております。こちらも34年間活動されております。

以上、生涯学習課からの推薦の3名となります。

○**鈴木課長** 続きまして、スポーツ青少年課では、スポーツ推進委員の笛田剛様の御推薦をいただいております。笛田様は、和光市スポーツ推進委員として10年と9か月活動していただいております。毎年実施されておりますスポーツ推進委員事業や和光市スポーツ協会の事業について積極的に出席いただき、和光市のスポーツの発展に寄与していただいております。

以上です。

○**石川教育長** ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明につきまして御質問や御意見等ございますか。

お願いいたします。村中委員。

○村中委員 ささら獅子舞保存会の事務所というか、それはどこにあるんですか。

○石川教育長 生涯学習課長で分かりますか。

○亀井次長 事務所といますか、会長の御自宅にはなっておると思います。そうですね、御自宅のほうですね。どこかに事務所を置いているとか、そういうことではありません。

○村中委員 一度、この獅子舞というのを見たいんですよ。見て、それで、できれば協力をしたいなど。知らないのは私だけなのかなとか思ったり、誰か知っている、みんな知っているか。

○山田委員 私、保存会の会員です。

○村中委員 今度ぜひ。

○山田委員 そうですね。

○村中委員 活動はどのぐらいの頻度ですか。

○山田委員 基本的には、下新倉の氷川神社のお祭りのときに奉納の舞というのをしますが、神様に奉納するんですね。その1か月ぐらい前から練習をスタートして、獅子頭のおはらいしたり、いろいろ決まった伝統儀式がありますので、それにしたがって、伝統を守りながら、披露すると、奉納するというものです。

○村中委員 今度はいつ頃ですか。

○山田委員 秋になります。秋の13日過ぎの日曜日に基本的にはお祭りが行われます。ここ数年、コロナでお祭りができていなかったもので、奉納の舞だけは、短時間ですけれども、神社のほうで同じ日に奉納はさせていただいておりました。

○亀井次長 こちらは市の指定無形民俗文化財に指定されております。

○石川教育長 ありがとうございます。

○村中委員 私、台東区のほうの祭りの会に入っているんです。それで、鶯谷の元三島神社というところの氏子の会に、そこでとびの頭が木遣りを教えてくれているんですね。直接これと関係ないんだけど、もしそういうので私が誰か集めて木遣りを獅子舞と一緒に隣でやると結構格好いいなと思って、NHKか何か取材に来たりして、下新倉、和光が結構有名になるかもしれないなと思って、いろいろ研究してみたいです。

以上です。

○石川教育長 ありがとうございます。

ほかにかがですか。

○山田委員 例年このぐらいの、少し今年は少ないのかなと思うんですが、前回お話ししたスポーツ関係の表彰者がいらっしゃらないので、ちょっと寂しいなど。本当に毎週毎週一生懸命やられている方が、スポーツ少年団、いらっしゃるので、ぜひ来年に向けて、いろいろ要項なども検討していただいて、できるだけ子供たちのために頑張っていらっしゃる方に表彰を受けていただけたらなと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○石川教育長 ほかにかがでしょうか。

○村中委員 この間、氷川神社で私が撮った写真ですが、医師会の雑誌に祭りで何か書くよう言われたので、それに載せた写真があるんですけども、これ氷川神社。

○山田委員 新倉ですね。

○村中委員 そうそう、新倉。教育委員会でお役に立てれば。

○石川教育長 では、よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○石川教育長 それでは、質疑を終了させていただきます。

採決します。

議案第1号 和光市教育委員会表彰規程に基づく表彰について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○石川教育長 では、異議なしの声がありましたので、異議なしと認め、議案第1号 和光市教育委員会表彰規程に基づく表彰については、原案のとおり承認されました。

付議案件については以上になります。

---

### ◎協議・報告事項

○石川教育長 続いて、日程第4、協議・報告事項に移ります。

本日の協議・報告事項は1件になります。

(1) 和光市教育委員と教職員との懇談会について。

学校教育課から説明をお願いします。

○佐藤次長 それでは、教育委員と教職員との懇談会について御説明いたします。

資料3を御覧ください。

懇談会について、学校からの参加者が決まり、2グループで教職員6名で編成いたします。

テーマは、Aが学校運営上の諸課題全体に関わること。Bは、教育指導上の諸課題とします。最近の状況、やりがいた、先生方が大変だったこと、また、現時点で興味を持っている課題については、名前の下に入れさせていただいていますので、この辺も含めて、進行については、学校教育課の指導主事が様子を見ながら進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

教育委員会の皆様もどちらかのグループに入っていただきますが、希望があれば、お申し出いただければありがたく思います。特になければ、こちらで調整をさせていただきますので、その点もよろしくお願いします。

○石川教育長 ただいまの説明に対し質問や御意見はございますか。

山田委員。

○山田委員 選んでもいいということですか。

○佐藤次長 はい。

○石川教育長 もしこの場で御希望があれば。

○山田委員 Aのほうをお願いします。

○石川教育長 山田委員がAのほう。

○村中委員 私、Bのほう。

○佐藤次長 はい。

○石川教育長 村中委員がBのほう。

○山下委員 2月16日が大学入試の判定会議というのがありまして、3時15分に間に合わない可能性が高くて、いわゆる本会議の時間には丸々会議がかぶってしまっていて、こちらに着くのが、早くて4時というタイミングで、少しペンディングさせてください。

○石川教育長 分かりました。

○山下委員 申し訳ございません。

○石川教育長 牧委員はいかがですか。

○牧委員 Aで。

○石川教育長 では、牧委員がAということで。

ほかに何かこれについて御意見や御質問ございますか。

(発言する者なし)

○石川教育長 では、また内容を見ていただいて、お気づきの点があれば、学校教育課に  
あらかじめ御連絡をしていただくということでしょうか。

(「はい」の声あり)

○石川教育長 では、よろしくお願いいたします。

---

◎その他（教育委員諸報告・事務局報告など）

○石川教育長 では、次に進みます。

日程第5、その他ということで、各教育委員さんより諸報告があれば、この場でお願いいたします。いかがでしょうか。何かございますか。

○佐藤次長 事前にご質問いただいたものは後ほど報告します。

○山田委員 後ほどですか。

○佐藤次長 はい。

○石川教育長 よろしいですか。

○山田委員 教育長さんにお話ししたメールの件です。学校に生徒に危害を与えるというメールの件ですけれども、全国的に発信されているということなんですが、本当に万が一のことがあってもいけないので、できることを今対策をしていかなきゃいけないなど思うものですから、教育委員会、学校としてはどのような対応を取っているのですか。

○石川教育長 はい。和光市、埼玉県ではなく、全国的に高校や中学校を対象に脅迫するファクスが届いているということで、新聞にも報道されていたかと思えますけれども、私どもの対応について学校教育課長からお願いします。

○佐藤次長 埼玉県では24日に県立高校に脅迫メールが来ました。脅迫メールが届いた学校に関しては、下校させて休校という措置を取ったと聞いております。

市内小・中学校については、中学校に、昨日の夜中に3校ともファクスが届きました。7時に確認し、その後市教委に連絡があり、警察に連絡しました。小学校は送付がありませんでした。その時点で中学生も登校し始めている段階だったので、メール配信はしませんが、各学校、小学校も含めて、登校時、教職員の見回りをお願いしました。その後、県からの通知があり、危機管理室では青パト巡回等をする、下校については、まとめて下校、また、保護者には一斉配信メールをして、見回りの依頼をさせていただきました。

中学校は、スキー林間に行っていた関係もあるので、部活動は昨日はなしにして下校

させています。

今日も、中学校にまた同じようなメールが届いた関係で、同じ対応をしているところでございます。まだ保護者には配信していませんが、注意喚起をする予定でございます。以上です。

○石川教育長 今、その内容を見ていて、学校教育関係で全庁的に情報共有はして、学童であったり、保育園であったり、そういうところにも情報が流れるようにしておりますけれども、山田委員が言われるのは、それだけではなく、例えば自治会であるとか、そういったところにも、こういった内容は来ているのでということでの見守りの依頼的なことを行ってはどうかということだと思っておりますが、それについてはいかがですか。

○佐藤次長 危機管理室にも話はしているんですけども、県の通知等も受けまして、検討していきたいと思えます。

最近継続してメールがきているものですから、その辺は様子を見させていただこうと思えます。

○山田委員 こういうことが起きたから、和光市として何か子供たちの防犯対策をするということもあるんですけども、こういうことは日頃から、こういうファクスがなくても起こり得ることかもしれない。だから、常にやはり意識を持っていただくということが大事なので、このことをきっかけに、また自治会の人がある意識を高めてもらうには、やはりこういった情報をお知らせして、継続的にいつでも防犯意識を持ってもらうということが大事なのかなというふうに思っていますので、私も防犯推進連絡会というのを危機管理室が中心にやっていますので、市内の自治会や各団体の組織がありますので、そこを中心にいろいろ広めていただいて、子供たちの見守りを日頃からやってもらうという方向性でお願いしていく。今回のことがあったから、きっかけなのかもしれないですけども、常にそういう意識を持ってもらうということが大事なのかなと思います。

○佐藤次長 その辺は危機管理室とも調整させていただきます。

○石川教育長 よろしくお願いたします。

ほかはいかがですか。

○山下委員 ちょうどそのあたりが埼玉県の高校入試の日程と重なっていた可能性があって、なので、今度、もしかすると、埼玉県の県立高校の入試日とかに合わせて、そういうことがあるかもしれないなとちょっと思ったりしたんですね。なので、何となくそういうところも踏まえて、もしかすると、ネットによる割と若い人による愉快犯の可能性

をどうしても否定し切れないようなやり方だなと思いましたが、実際の危害というの  
も、加害している人が未成年であるかもしれないということをもうちょっと視野に入れ  
ながら、もしそうであった場合には、そのような出来心を持ってしまった人に対するケ  
アがもしかしたら必要なのかなと少し思うこともありますので、慎重に見守っていただ  
けたらなと思います。

○石川教育長 ありがとうございます。

○山田委員 こういう事件を起こした本人が逮捕されて、何を自分がやったかというこ  
とを自分で理解しないと、今後、うやむやに終わってしまうのは非常に危険です。次の段  
階がもうちょっと大きなことにつながっていく可能性があるので……

○石川教育長 そうですね。

○山田委員 それを正してあげないと、やはり本人のためにもならないと思うので、早く  
更生させることが本人のためにも必要なことかなというふうに思います。

○石川教育長 はい、ありがとうございます。

それでは、事務局からの諸報告についてよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○石川教育長 では、初めに教育部長からお願いいたします。

○寄口部長 市の状況について大きく3点御案内いたします。

先日、1月22日日曜日、先日の一部午前中に、和光市職員災害対応訓練が全庁的に市  
役所において実施されました。新型コロナウイルス等の影響で4年ぶりの開催になりま  
した。本来、毎年実施するものなのですが、4年ぶりです。当日午前7時に、東京北部  
でマグニチュード7.3の地震が発生して、市内に相当の被害が生じたという内容で、全  
職員に登庁が命令されました。図上訓練になりますが、小・中学校にも被害があったと  
いう内容を想定しており、教育委員会事務局により対応いたしました。

今回の訓練を通しての課題として幾つか出ましたが、特に他部署との横の連携がやは  
りもっと必要であるということですか、それから、訓練に際しては他市の想定です。  
例えば冬の夜間ですか、夏休み中であるとか、そういう異なる想定下でこれからも実  
施していくなどの点も見いだすことができました。

市内小・中学校においても、学期ごとに避難訓練を実施しておりますので、非常時の  
対応につきましては、連携を取って臨んでいきたいと考えております。

次に、新型コロナウイルス対策の関連で、市では1月11日から希望する市民を対象に、

抗原検査キットの無料配付を行っております。対象は、御自身に発熱等の症状がある方や、家族に陽性者がいる濃厚接触者で、4,000セットを用意しております。現在1,600セット以上が配付されておまして、配付され次第終了となる予定でございます。

最後に、新型コロナウイルスの感染状況です。小・中学校の状況については、この後、学校教育課長から報告がありますが、市役所における新型コロナウイルスの感染状況については、1月25日現在において、職員443名人4名、陽性者が出ております。陽性者の数としては、抑えている状況ではありますが、実際、このほかにも、家族が感染して濃厚接触者として登庁できない職員は増えております。感染防止については、今後も留意してまいりたいと思います。

私からの報告は以上です。

○石川教育長 ありがとうございます。

では、続いて、教育総務課、お願いいたします。

○福田次長 教育総務課からは、小・中学校施設整備について2点御報告いたします。

まず、第三小学校用地の個人所有部分の売買契約締結、法務局による和光市への所有権移転協議が完了いたしました。令和5年度は残りの敷地の用地取得を引き続き行っていく計画としております。

次に、今年度で一番大きな学校施設工事の小・中学校の特別教室空調機設置工事についてですが、全校の工事が完了し、提出書類が整いましたので、小・中学校ともに工期は令和5年1月31日までとなっておりますが、小学校は予定工期から2か月以上早い12月22日、中学校は今週1月23日に財政課と完了検査を受検し合格しました。

教育総務課からは以上です。

○石川教育長 ありがとうございます。

では、続いて学校教育課、お願いします。

○佐藤次長 学校教育課から3点連絡をいたします。

1つ目が委員から質問いただいた内容になります。

1つ目は、クラスに数%の割合で発達障害の子供がいるという状況の中で、その子供たちの支援は十分に行われているかという質問ですが、御存じのとおり12月の新聞報道において、文科省の抽出調査で小・中学生の8.8%、発達障害の可能性という記事がありました。本市でも調査すれば、同じぐらいの割合が出るのかなと感じています。

各学校では、特別支援教育コーディネーターを配置して、配慮が必要なお子さんにつ

いては、校内委員会において、その子たちの状況を共有しながら、どういった支援が必要かという協議をしています。また、教育支援プランA、Bとあって、個別の指導計画を作成していますので、それに基づいた対応をしているところです。

学校から要請があった場合は、できる限り生活支援員の配置をしたり、教育支援センターの臨床心理士を派遣して、発達検査を行ったり、巡回相談をして、その子に合った支援の方法をアドバイスするということをやっています。

2点目、授業の個別最適化についてはどの程度進んでいるかという御質問ですが、これは令和3年に文科省より個別最適な学びということで示されている内容になります。今までの個に応じた指導にあたり、一人一人の子供に応じてどのような目標を設定して対処していくかということになります。今現在、学校では、特にICTの活用を含めて個別最適化については対応できるように進めているところです。今の課題としては、やはり学校間、学級間、担任間で、タブレットの使用や個に応じた支援については差が生じているというのも把握していますので、できる限り差がないような形でできるように研修したり、学校訪問で指導しているところです。

○山田委員 実際は今遅れている先生がいるということは、その先生自振身は認識していらっしゃるんですか。進んでいる先生と遅れている先生がいると、その辺はどうなんですか。

○佐藤次長 中堅からベテランの方は結構認識しているんですけども、若い先生は自分のやっていることが精一杯で、そこまで理解していない現状もあります。

○山田委員 若い先生がいっぱいいっぱいになるということ、やはり教育指導に全体的に慣れていないということからでしょうか。それとも、先生方の仕事が多過ぎて、教員がやる仕事以外の主な事務的なものが多過ぎてそうになってしまっているのか。そうであれば、教員がやるべきでないものは、本当にほかの方にやっていただくとか、若い先生は特にそうになってしまうのであれば、何らかの方法で負担を減らしてあげる必要があるのかなと思います。

○佐藤次長 両方の側面があると思いますので、負担軽減も学校の大きな課題として取り組んでいるので、できる限り軽減しながら、授業に関する研修などは軽減できないので、やるべきことはやる、やる必要のないことは軽減するようにしてまいります。

○山田委員 それと逆に先生になってやる気というか、その辺、やる気があるのか、いっぱいいっぱいなのかで随分違ってくると思うんですね。だから、上の校長先生なり、指

導される先生なりがどういうふうにもう若い先生の気持ちを上げていくかというところも大変重要なところではないかなというふうに思います。

○佐藤次長 おっしゃるとおりですが、今、逆に負担軽減で早く帰るということがクローズアップし過ぎるばかりに、教員が今まで放課後の時間だとかに、コミュニケーションを取っていたものがかなり減ってきてしまって、逆にマイナスの要素となる実態もあるので、その辺は単に負担軽減だから、時間だけということではなくて、負担を取り除きながら、必要なことは時間を取れるようにしていきたいとは思います。

○石川教育長 若い教員がいっぱいいっぱいというのは、これは今に始まったことではなく、これまでもそういう中で経験を積み重ねていって余裕を持って指導できるようになっていくというのはあると思います。

そのICTの活用については、ただ若いというだけではなくて、例えば1年目の教員でも、学生のときに既にそれを活用して授業に参加していたとか、自分たちでプレゼンをした経験があるとか、そういった教員であれば、1年目の教員であったとしても、授業の中にそれを容易に取り入れることができているんですね。

ところが、反対にそういった経験が乏しかった学生時代を過ごしている人たちは、まずは教科書や資料を使って授業をどう組み立てるかというときに、ICTが入ってこないという先生たちもいて、そうなってくると、それを無理にICTを使いなさいよということによって、自分の計画の量をオーバーしてしまうというようなケースもありますから、やはり若いというだけではなくて、それまでのその教員の経験値に大きな差が今はあるのかなという感じがしています。

ただ、実際には、大学でかなり今はICTを授業の中に取り入れている大学が増えてきているので、その点では、ちょっと前までの若い人という言い方は変なんですけれども、本当に若い人たちのところの間にも差が生まれているのかなという感じはしています。

いずれにしても、学校全体が一人一人の子供たちの個別最適な学びの下でICTをどう使うかというのが、学校全体の雰囲気というんですかね、そういったものを醸成していくことがやはり肝腎ですので、学校訪問を通じてそういったことを学校には伝えていかなければならないというふうには思っております。

○山田委員 先生の仕事って物すごい大切な仕事だと思うんですよ。最近、本当に思うんです。いずれ、その子供たちが社会に出て、社会をつくっていくわけじゃないですか。

その子供たちを今育成しているわけですから、本当に大事な仕事で、未来を先生方はつくっているととってもおかしくないぐらい大切な仕事なんだというふうに思います。その意識というのはどうなんですかね。先生方は持たれているのか。

○石川教育長 今のようないわゆる教育に対する使命感とか、そういった部分につながってくるのかなと思うんですけども、そういった部分の研修等、それから本当に目の前の、この1時間の授業をどうつくっていかうかというふうなもの、やはり若い先生たちはその両方を同時進行でやっていっているというのが現状なんだと思います。

先ほど学校教育課長から説明もあったように、働き方改革という名の下に、職員室の中で先生たちがコミュニケーションを取る時間そのものも減ってきてしまっているという実態があるんですね。なので、そうなってしまうと、仕事を削ったがゆえに、先生たちの意識が低下してしまうというような状況になってしまうと、それは本末転倒ですので、先生方をお願いしているのは、先生たちがコミュニケーションを取る中でスキルアップしてくれる部分がたくさんありますから、そういったところはぜひ大事にしてほしい。その代わり、これまで行われていた仕事ですけども、本当にそれは必要なのかどうかという部分は見極めてほしいというようなことはお願いしながら、やはり全ての先生方が子供たちに対してよりよい教育がしたいと思うようなモチベーションを深めていくような、そういった学校づくりをお願いしているところです。

○山田委員 そういう先生方が気軽に相談できる体制と言いますか、分からないことを分からないと本当に素直に言える雰囲気というか、相談して教えてもらって、そういうつながりの中でリーダー的な人がうまく指導しないとうまく育っていかない、そこが大事なことかなと思います。

○佐藤次長 報告の2点目です。コロナの状況についてになります。

3学期当初、第8波が心配されましたが、それほど学校へは広がらず、とはいえ、インフルエンザが増えています。先週、3学級が学級閉鎖をしました。

教育活動については、学びを止めないことと、本来の学校の姿に戻っていきたいというところで進めているところですが、先ほど教育長からもありましたように、スキー林間ですとか社会見学等は十分注意しながら実施しているところです。

12月の教育委員会でもお話ししましたが、コロナの基本方針が変更されたことを受けて、マスクの適切な着脱、それから、給食中や集まりで一言も発することができない対策にはないようというところで学校には周知しているところです。

卒業式については、できるだけ本来の姿ということで、保護者に関しては2名参加、在校生はなしでやることになっています。来賓については、市長、教育長とも協議させていただきながら、本来、設置者である市教育委員会に関しては、卒業を見届けるという意味でも参列するのが本来の姿なので、来賓については教育委員、市議会議員、市側から1名ないし2名の参加で考えております。学校運営協議会委員、PTAに関しては、各学校の判断となります。時間短縮のため、市長メッセージ、教育委員会の告辞についても、昨年と同様、印刷配付のみで、壇上での読み上げはしません。

3点目の生徒指導に関する部分に関しては、非公開の内容ですので、閉会後に説明させていただきますと思います。

学校教育課からは以上です。

○石川教育長 ありがとうございます。

では、生涯学習課、お願いします。

○亀井次長 生涯学習課から2点ございます。

まず、今お配りいたしました2月9日木曜日、午後2時から市民文化センター小ホールにて人権講演会を開催いたします。今回の講演会は、令和2年度に企画したものがコロナの関係で延期になっておりまして、4年度に開催する運びとなりました。講演会は「ハンセン病問題から学ぶこと」と題しまして、国立ハンセン病資料館の職員の方から講演をいただきます。申込みも不要ですので、お知り合いの方お誘い合わせの上、ぜひ御来場いただきたいと思います。

人権問題という講演会でございますと、固いイメージがありまして、なかなか実際は集まらない部分もございましたので、ただ、人権は大切なものですので、ぜひ皆さん集まっていたいただきたいなどは考えております。よろしく願いいたします。

続きまして、2点目ですね。和光市史平成版の編さんの進捗状況について御報告いたします。

和光市史平成版の編さんは、和光市史編さん委員会を組織いたしまして、令和2年度から実質的な内容の審議に入りましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により対面による会議が思うように開催できなかったことから、リモートによる会議を中心にこれまで議論を重ねてまいりました。今週24日火曜日に令和4年度第5回編さん委員会を対面により開催いたしまして、最後の委員会だったんですが、そこで内容はほぼ固まったところがございます。この後、巻頭の挿絵とか多少の文言訂正等、再度調整をしまして、

3月末までには刊行できる運びとなっております。

編さん委員会からの刊行後の活用、こちらのほうをしっかりとってほしいというような御意見をいただきましたので、今後、どのような形で進めるかということで生涯学習課のほうで今検討をいろいろしているところでございます。

生涯学習課からは以上でございます。

○石川教育長 ありがとうございます。

では、スポーツ青少年課、お願いします。

○鈴木課長 スポーツ青少年課では、さきに教育長から御報告いただいておりますけれども、1月14日の土曜日に新春たこあげ大会を実施しております。今回の参加者は43名御参加いただきました。当日の天候が午後から雨という状況でしたので、ちょっと心配していたんですけれども、午前中、たこを揚げている時間は何とか天気もちまして、風のほうもちょうどいい風が吹きまして、皆さん、たこがきれいに揚がっておりました。ちょっと数は少なかったんですけれども、皆さん楽しく参加していただけたのかなと思ひまして、青少年事業につきましても久しぶりの実施だったので、充実感を持ったところでありました。

続きまして、第2期スポーツ推進計画ですけれども、こちらのほう策定が終了いたしまして、1月21日の土曜日から2月13日月曜日までの間でパブリックコメントを現在実施しております。このパブリックコメントの御意見をいただいた後に、3月の定例教育委員会のほうで教育委員さんの皆様には御審議いただきまして、御了承いただく予定となっております。

続きまして、2月の行事の予定は、18日の土曜日にスポーツ少年団の卒団式を予定しております。翌週の25日、26日の土曜、日曜日につきましては、十日町市とのスポーツ交流会で少年サッカー大会を予定しております。

スポーツ青少年課からは以上でございます。

○石川教育長 ありがとうございます。

何かここままで御質問等はございますか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○石川教育長 それでは、次回の定例教育委員会の日程について教育総務課からお願いいたします。

○福田次長 令和5年第2回定例教育委員会は、2月16日木曜日、午後1時30分から603

会議室で行います。

なお、15時15分から602会議室にて教職員との懇談会を引き続き行いますので、よろしくお願ひいたします。

○石川教育長 ありがとうございます。

それでは、これもちまして第1回定例教育委員会を閉会いたします。

ありがとうございます。

閉会 午後 2時21分

## 第 1 回定例会会議録署名者

教 育 長

会議録署名委員